

わらび WARABI

市議会 だより

No.234

2026・6

編集

蕨市議会広報広聴委員会

TEL/048-433-7733

FAX/048-432-7991

Eメールアドレス

gikai@city.warabi.saitama.jp



目次

令和8年3月定例会の概要	P 2
3月定例会の賛否結果	P 3
代表質問	P 4
一般質問	P 7
政務活動費の公開・編集後記	P14



今回の表紙は昨年、蕨駅東口一番街で開催された「あさがお&ほおずき市」の様子です。ずらりと並ぶ色とりどりのあさがおと色鮮やかなだいたい色のほおずきがとても印象的です。今年は6月27日・28日に開催されますので、ぜひ皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。



3月定例会

議員提出議案第2号「令和8年度蕨市立病院事業会計予算に対する附帯決議」を原案可決

令和8年3月定例会は、2月17日から3月23日までの35日間の会期で行われ、初日には市長から施政方針表明が行われました。

代表質問では、6人の議員が施政方針や市政全般について質問を行いました。(4～6ページ参照)

また、一般質問では、13人の議員が市政の重要課題をそれぞれ取り上げました。(7～13ページ参照)

最終日には、市長提出議案24件を原案のとおり可決したほか、議員提出議案1件を原案のとおり可決しました。

今定例会では、「令和8年度蕨市立病院事業会計予算に対する附帯決議」が議員提出議案として提出され、退席者1名を除き、全員の賛成で原案のとおり可決されました。本附帯決議は、耐震基準を満たしていない市立病院の建替えを前進させると同時に、実効性のある経営改善を進めるために9つの要望を付したものです。本決議と、本決議への討論の内容は次のとおりです。

提出者

わらび未来の会・
公明党・日本維新の会

附帯決議の主な内容

蕨市立病院は、市内で唯一の二次救急指定病院であり、市民の命と健康を守る重要な拠点である。一方で、建設から50年以上が経過し、更新が急務で

ある。

しかし、本市病院事業の経営状況は深刻で、令和6年度決算では約3億2900万円の純損失を計上。未処理欠損金は約22億5645万円にまで達している。

さらに令和7年3月時点において約67・2億円と試算された概算事業費は、令和8年2月の基本設計素案では約90・2億円へと、約23億円も増額となった。医療機器等を含めれば実質120億円規模となる可能性がある中で、脆弱な収益構造のまま突き進むことは、病院経営のみならず本市の一般会計そのものを揺るがす事態を招きかねない。

こうした中、蕨市立病院経営危機打開プランが示されたが、令和8年度の目標患者数を令和7年度補正予算において大幅に下方修正した現状から、わずか1年で劇的な回復を遂げることは難しい課題であり、医師の確保などこれまでにない相当の努力が求められる。

経営改善なくして新病院の成功はあり得ないが、大規模災害時における倒壊リスク等をこれ以上放置できないという決断のもと、本予算案を可決するものである。

厳しい経営環境の下でも、市民に求められる必要な機能を維持し実効性のある経営改善を進めるためにも、議会への透明性あ

る報告と、第三者機関による客観的評価の導入の確実な実施を求め、ここに本附帯決議を付す。

1. 外部アドバイザーによる伴走型支援体制の早期構築
2. 外部アドバイザーによる助言の活用と説明性の確保
3. 基本設計案の妥当性検証と実施設計への反映
4. 実施設計の期間延長
5. 地域医療連携体制への貢献
6. 経営危機打開プランの改善
7. 効果検証と議会への情報共有
8. 建設後10年間の財政シミュレーションの公表
9. 一般会計繰出金のガイドライン設定

賛成討論

日本共産党

すでに執行部が実施等を表明している内容も多いが、本市議会が責任ある立場から市立病院の移転建替えに関わり、実現に向けて取り組むことを明確に示す意味において賛成する。救急医療をはじめ、市立病院が果たす役割は極めて大きい。病院経営は全国的に厳しいが、基本設計ではコスト軽減等が図られ、経営危機打開プランの実践も始まった。本市議会は、市立病院整備の重要性と困難さの両面から議論すべき。頼

令和8年3月定例会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	わらび 未来の会	日本 共産党	公明党	新翔会	無所属 (基本議員)	無所属 (宮下議員)	日本維 新の会	結果
議案第6号	蕨市行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	蕨市火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案第10号	蕨市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	蕨市保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	蕨市水道事業鉛製給水管改修基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	令和7年度蕨市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	令和7年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	令和7年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	令和7年度蕨市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	令和7年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	令和7年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	令和7年度蕨市立病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	令和7年度蕨市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	令和8年度蕨市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	令和8年度蕨市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	退席	○	○	原案可決
議案第23号	令和8年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	令和8年度蕨市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	令和8年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	令和8年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	令和8年度蕨市立病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	令和8年度蕨市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	令和8年度蕨市公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案 第2号	議案第27号「令和8年度蕨市立病院事業会計予算」に対する附帯決議	○	○	○	○	退席	○	○	原案可決

※ 議案第9号、議員提出議案第2号については質疑が、議案第9・21号、議員提出議案第2号については討論が行われました。質疑・討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧になることができます。



新市立病院完成イメージ図

議員提出議案第2号
(附帯決議)の全文はこちら



賛成討論 **無所属(宮下議員)**

高市長の下で、市全体の財政健全化や公共施設の耐震化等進められ、市立病院の建替えまでできた。引き続き、市議団も力を尽くす。

本附帯決議は、今後の病院運営や方向性に対し、具体的な視点と課題意識が示されている。執行部との協調でよりよい医療体制を築き、「市立病院があつてよかった」と実感できることを期待し、賛成する。

代表質問

代表質問とは

一般会計当初予算案や市政全体に
わたり、各会派の代表者1名と、
2人以上の議員で構成する会派に
所属していない議員がそれぞれの
持ち時間で質問する制度です。



市の財政運営を問う
持続可能な蔵をつくる
ための施策を！



録画配信

わらび未来の会
前川 やすえ



街の未来を左右する蔵市 立病院の今後について

議員 新病院建設費等の増額
による他事業への影響が懸念
される。将来負担の見通しは
どのようなか。

病院事務局長

本事業の財源
は病院事業債を活用し、償還
は収益及び一般会計からの負
担金で対応するが、当初5年
間は償還額が大きくなるため、
蔵市立病院建設基金を充てる。
国の交付税措置に加え、国保
直診施設としての整備費補助
等の支援制度を活用し、実質
的な負担軽減に努める。

令和8年度予算編成

議員 市債が増額となる中、
財政リスクをどう考えるか。
総務部長 市債の発行につい
ては、歳入の状況や起債の対
象事業の規模、交付税措置の
有無、世代間の負担の公平性
等を総合的に勘案し、後年度

負担を考慮した借入れを行っ
ていきたいと考えている。

学校施設整備について

議員 校舎外壁塗装の計画及
び建替えに関する調査状況に
ついてはどのようなか。

教育長

現時点では外壁改修
の計画はないが、今後も劣化
状況等を見極め計画的な実施
に努める。建物や設備の調査
状況については、担当課及び
学校職員による巡回点検等を
行っているが、今後は専門家
による精密な劣化診断等の客
観的なデータの収集、活用方
法等についても研究していく。
**誰もが安心して暮らせる
にぎわいと交流の広がる
街へ**

議員

保育園設備改修計画に
ついてはどのようなか。

健康福祉部長

公立保育園リ
ニューアル3カ年計画として、
空調設備の取り替え、照明の
LED化、トイレの改修、フ

エンス及び門扉の取り替え、
外壁改修を全公立保育園で実
施する予定である。

議員

にぎわい交流拠点から
旧中山道、駅前までのにぎわ
い創出の考え方はどのようなか。

市民生活部長

市役所仮設庁
舎跡地を活用してにぎわい交
流拠点を整備することで、中
山道エリアへの集客を図り、
蔵駅西口周辺の商店街をはじ
め、駅前通りとの回遊性を生
むことを目指している。

議員

中山道という横軸にお
けるにぎわいとして、歴史民
俗資料館等の開館時間延長を
要望するが、2階へのエレベ
ーターがないため、高齢者や
車椅子の方が見学できない。
対策を考えていただきたい。

多文化共生について

議員 増加する外国人、外国
人児童・生徒に向けた施策・
課題に対しての市長の考えは
どのようなか。

市長

定期的な生活オリエン
テーションの開催、クリーン
ステーションの多言語表記、
日本語特別支援教室の充実等、
生活ルール・生活習慣・文化
の理解と、学校現場の取り組
みという大きな2つの柱とし
てしっかり取り組んでいく。

暮らしと営業を支える 物価高騰対策の推進を



録画配信

日本共産党

鈴木 智



議員 市政、市民生活、市内経済への物価高騰の影響についての認識はどうか。

総務部長 賃金上昇が進む一方で、市民の暮らしは困窮し地域経済も厳しいと認識。歳入では市税等が増額となった一方、歳出では社会保障関係費用の増、様々な行政課題への取り組みで行政経費が膨らみ、厳しい財政状況が続く。

議員 物価高騰対策について市長の見解はどのようなか。

市長 これまで4回の緊急対策に取り組んできた。今回はさらに思い切った対策が必要と考え、全ての市民の支援につながる全ての方々が使いやすい「織りなすクーポン」を実施。市内事業所を支援する意義もある。いろいろな努力を重ね、当初示した時期より3か月早く、7月に配布、8月から10月末までの利用で実施。確実に期間中に全ての家庭に届け、多くの事業所に参加してもらい、全ての皆さん

本構想の段階で約63億円だった建設費が基本設計素案では87億円程度に増額したが、起債とともに約30億円の基金を使って対応する。財政見直しを持ち、根拠を示し、市民の理解をいただきながら責任をもって進めていきたい。

子育て短期支援事業 について

議員 日本共産党市議団でも実施を要望してきたが、事業の主な内容はどのようなか。

健康福祉部長 保護者の疾病等となった場合に、児童養護施設等で一定期間子どもを預かる「ショートステイ事業。こども家庭センター」「わらび」が相談対応や申請の受理利用調整等を行う。3施設と委託に向けて協議。年間10件程度の利用を見込む。

スマートウエルネス シティの推進

議員 新年度の事業はどうか。
健康福祉部長 新たに「まちなかベンチ」を設置し、ウォーキング教室を開催。引き続き「廠あるこうキャンペーン」や「ウォーキングイベント」の開催、健康遊具の設置、歩道の整備等を実施する。

令和8年度 予算編成について



録画配信

公明党

大石 幸一



議員 支出増にもかかわらず投資拡大を選択した理由はどのようなか。

総務部長 令和8年度予算では、歳出において駅西口市街地再開発事業に係る補助金が事業の進捗により大幅な増となったこと等により、投資的経費である普通建設事業が大幅に増となった。

議員 人件費増の恒常化リスクはどのようなか。

総務部長 構造的な人手不足や最低賃金の引き上げ、物価上昇への対応により、人件費の増は今後も続くことが想定され、財政運営上の課題の一つであると考えている。

議員 特別会計への繰出金は今後増える見込みか。

総務部長 国保会計では、医療費水準や公費の拡充等、介護会計・後期会計では高齢化に伴う介護ニーズや医療費等の進捗等が主な要因として増減するものと考えている。

議員 公債費について、返済額は今後どの程度増加すると見込んでいるのか。

総務部長 臨時財政対策債等の償還が進む一方で、駅西口市街地再開発事業等、大規模な事業の借入れや金利の上昇等の影響を踏まえると、一定程度の増加は生じるものと見込んでいる。

議員 市の返済負担は財政的に安全な水準にあるのか。

総務部長 財政健全化法に基づく4指標及び年度間の財政調整機能の役割を果たす財政調整基金の残高を見ても、安定的な財政運営を行っていることと認識しており、今後も持続可能な行財政運営を行う。

市立病院事業について

議員 今の収支状況が続いた場合、病院の経営は継続できるのか。
病院事務局長 今の経営状況が続く場合、基準外も含めた多額の繰出金が必要となり、

財政にも影響が出かねない。経営危機打開プランを着実に進め、経営改善・基準外の繰出金解消に取り組んでいく。

議員 経営改善策が現場の医療体制に無理を生じさせる懸念はないか。

病院事務局長 目標の患者数は現在の人員体制で対応できると考えている。しかし、計画にない新たな取り組みが必要となった場合は追加で人員を確保する等、体制強化にも積極的に取り組んでいきたい。

議員 新病院建設前に、黒字化に向けてロードマップを作成することが大事だと考えますが、市長の見解はどのようなか。
市長 新病院に向けて安定経営が実現できれば、繰出基準内でやっていける返済となる見通しである。基本設計を進めながら、経営危機打開を進めていくことが一番望ましい判断だと考えており、不退転の決意で進めていきたい。

議員 コンサルタントを導入し、市長、副院長と三位一体となって危機を乗り越えてほしいと考えるがどうか。
市長 経営改革、危機打開を進めていく上で、必要な支援を専門的に受けられ、力になるものがあれば、非常に大事であると考えている。

市民会館管理運営費及び市民体育館改修事業について



録画配信

新翔会

小林 利規

議員 市民会館コンクレレホールのピアノ更新の経緯はどのようか。

総務部長 定期的に調律・整調等の保守点検を行ってきたが、演奏に支障が生じるおそれがあるため更新する。

議員 国産より高価なピアノを購入する理由はどのようか。

総務部長 スタインウェイ&サンズ社製のグランドピアノをD-274は全国の市民ホール等で広く採用されており、本市の音楽によるまちづくりにふさわしいと判断した。

議員 比較的安価な国産のピアノを購入し、差額を各公民館のピアノの更新費用等に充当する考えはないか。

総務部長 公民館等のピアノは、定期的に保守点検を行い、支障が出ないよう維持している。

外国人転入者に分かりやすく生活ルールの理解をしてもらうために



録画配信

無所属

榎本 和孝

議員 市長施政方針にある「外国人転入者に対し、日本の生活ルールやマナーをお知らせするオリエンテーションの充実」について、これまでとの違いはどのようか。

市民生活部長 これまで外国籍の方が転入する際に、ごみの分別等のルールに関する情報を周知するために、生活ガイドブックを配布しており、

生活情報の動画を市ホームページに掲載し、啓発に努めてきた。新年度、生活オリエンテーションについては定期的な開催を行っていききたい。

議員 クリーンステーション等の看板の多言語化についてはどのようか。

市民生活部長 ごみの種類、排出方法、収集曜日が記載されたプラスチック製の看板は

る。今後も必要な対応を図る。
議員 防災拠点の観点から、市民体育館に必要な備品整備や工事等はあるか。

市民生活部長 建物や配水管等の耐震化を進めるとともに、資機材等の整備も進めている。新年度は空調整備設計のほか、LPガス発電機やガソリン発電機等の導入を計画している。

議員 災害時に命を守る観点から、空調設備の一刻も早い設置を強く求める。

現時点では議案の賛否を決めず、今日の答弁を踏まえて改めて一般質問で丁寧に質していきたくと考えており、引き続き慎重に検討していく。

日本語版のみ作製しているが、外国人住民へのごみ出しルール等の徹底のため、新年度は英語、中国語、韓国語、ベトナム語に対応した看板を作製し、クリーンステーション、リサイクルステーション各100カ所に設置していききたい。

議員 留守家庭児童指導室は北町A館が市直営から民間委託へ変更となるが、上の階のC館と同事業者に委託すれば、子どもの少ない土曜日を合同保育とすることで効率的な運営が可能ではないか。

健康福祉部長 委託費の削減にもなるので、そのようにしていきたい。

市立病院の必要性と在り方について



録画配信

日本維新の会

鈴木 慎乃助

議員 市立病院の建替えに係る費用は総額でどのくらいか。

病院事務局長 建設工事費や引越し費用等合わせた概算事業費の総額は、約117億2000万円を想定している。

議員 本市に公立病院が必要な根拠はどのようか。

病院事務局長 救急医療・感染症対応の役割、周産期医療の提供、検診事業の対応等、

市立病院の必要性は大きい。新病院でも役割を発揮し、必要とされる病院を目指したい。
議員 重要な役割を担っているとは感じるが、公立病院の運営は赤字を避けられないと思う。病院運営をやめてしまつのも選択肢の一つとしてあつてもいいと思うが、市長の見解はどのようか。

市長 市立病院が地域の中核病院、唯一の救急医療機関として、地域医療や市民の命や健康を守る責任を負う上で、最大限努力すべきだと考える。経営危機を打開しながら建替えるという、本市にとって大きな事業を、車の両輪で進めることが必要な判断だということ、市長として決断し提案させていただいた。責任を持って進めていきたい。
議員 大事なことは市民に理解いただくことだと思うが、市民は市立病院に対してなかなかいい印象を持っておらず、非常に難しいと感じている。さらにかみ砕いて市民に説明していく必要があると思う。

6月定例会の日程 (予定)

- 6月1日(月) 開会
- 3日(水) 議案質疑・委員会
- 4日(木) 委員会・分科会
- 5日(金) 委員会・分科会
- 8日(月) 委員会・分科会
- 15日(月) 一般質問
- 16日(火) 一般質問
- 17日(水) 一般質問・委員会
- 19日(金) 閉会

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。



広報広聴委員会を開催しました

- 3月18日「6月発行号の概要について、議会報告会について」
- 5月13日「6月発行号の最終確認、議会報告会について」